

平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数ともに「知識」をみるA問題の方が、「活用」の力をみるB問題よりも正答率が高い傾向が続いています。また、平均正答率は、A・B問題ともに全国とほぼ同程度です。
- ・国語では、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることについて学習の成果が出ています。一方、提示された文章から、問われた内容について根拠となる文章を読み取り、要約して答えることに課題がありました。
- ・算数では、特にICT機器活用、具体物操作の取組により図形の面積や角度、立体の面の位置関係習得に成果がみられます。一方、統計表の読み取り方、作成の仕方に全国同様課題がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「自分には、よいところがあると思いますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「学校の授業以外に、普段の1日当たりの学習時間が1時間未満」とした子どもの割合が高いです。
「地域や社会で起っている問題や出来事に関心がある」とした子どもの割合が全国に比べて低いです。
「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい」とした子どもの割合が全国に比べて高いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・根拠となる文章に線引きし、要点をまとめたり、簡単に要約したりして短い表現で表す学習を確実に積み上げていきます。
- ・高学年児童が、自分の考えを作文に綴り、相手にわかりやすく伝えられるように推敲を重ねて発表する「お話しタイム」を、今後も継続して毎週木曜日の給食時に全校放送で行います。話し手は考えを伝える力を磨き、聞き手は仲間の発表に学びます。
- ・朝学習や家庭学習も活用して、筆順や字形に特徴がある漢字も習得できるよう定期的に復習します。
- ・算数の授業では、統計表のどの部分からどんなことがわかるのか、ICT機器も活用しながら丁寧に確認します。また、統計表の見方、作成について、他教科と関連させて指導します。
- ・小数と整数の計算、加減乗除が混ざった計算は、計算方法を混乱してしまうことがあるので、確実に身につけるために朝学習や家庭学習で定期的に復習します。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習の手引き」を活用し、子どもたちが自らの学習に取り組めますよう引き続きご支援をお願い致します。
- ・ゲームや携帯電話、スマートフォン等の使用時間を再確認し、時間のルールを守らせましょう。
- ・地域や社会で起っている問題や出来事を知り、自分の考えが持てるように、親子一緒にニュースや新聞をみたり、家庭で話題にしたりしましょう。